



卒業生の皆様へ

学校法人香川栄養学園 理事長

香友会名誉会長

香川 明夫

香川栄養学園卒業生の皆様、香友会創設80周年おめでとうございます。

そして、いつも学園の活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

80周年を迎えられる本年度、本来であれば皆様と直接お目にかかりながらこの慶事をお祝いしたいところではありました。関係の皆様の健康を第一に考え、対面ではなくオンラインでのイベントでの開催となりました。世界は新型コロナウイルスによるパンデミックに見舞われ様々な国、地域でこの感染症に立ち向かう方々がいらっしゃる。そして本学の卒業生の皆様は建学の精神をよりどころに、予防医学の原点を確認しこの感染症と向き合いながら日々を送られていることと思います。今までの日常があたりまえでないことを強く感じながら送る日々です。1日もはやい「新しい生活様式」に則った健康な日々がくることを期待しています。

本学園と皆様とは常に太く強い絆でつながっていると考えています。「食により人間の健康の維持・改善を図る」という建学の精神によって育まれた皆様の力が、創立者香川昇三・綾の願い「これから栄養学の時代が来る」につながっています。香友会会員の皆様が学生、生徒であった時期から今は様々な立場でご自身の人生を歩み、今日につながっている。その中には若き日に学んだ栄養学がきつとつながっている。そういう思いを持たれていると思います。香友会の活動を通してより一層自分らしい生き方を選択し、実践されることを祈念しております。

学園は今年で家庭食養研究会発足より88年を数えています。日本の文化風習で言えば米寿を迎えました。栄養学は日々新たな知見が発見され、学問として進んでいます。日常生活では栄養過多と不足が国際的な問題となり二極化した健康問題を栄養が、食がどうやって立ち向かうか研究・発信しなければなりません。また、ひとり一人がよりよく生きるために食をどのように結びつけるのかという視点では、スポーツを支えることや心を支えることに教育研究を進めなければなりません。日本の伝統食としての「和食」はユネスコ無形文化遺産になりました。これを私たち日本人は守り受け継ぐ使命があると思います。その文化継承にどのようにチャレンジしていくかが大切です。ここに挙げた数々の取り組みは学園だけでは達成できないものばかりです。これからも引き続きお力を貸していただければと願っています。

香友会は本学創立者香川綾が、卒業生の連携と母校への協力を目的に作った会です。今までも多くの卒業生の皆様に支えられ、会長はじめ関係の皆様のご尽力で活動を進めてきてくださいました。その成果として全国に支部があり、海外にも会員がおられます。これからの未来を「本学を卒業した」という思いを皆様と共有しながら、香友会と香川栄養学園の発展を目指して参りたいと思います。

香友会80周年に際して、寄稿させていただいたことにお礼申し上げます。

最後に本学HPに2021年の創立記念日に際し掲載した「創立者香川綾98年の生涯」のリンクをQRコードにてご案内させていただきます。ご覧いただければ幸いです。

